

菅直人

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

菅直人^[注 1](かん なおと、1946年(昭和21年)10月10日 -)は、日本の政治家、弁理士、第94代内閣総理大臣、衆議院議員(10期)、民主党代表(第8代)。

閣僚としては厚生大臣(第85代)、財務大臣(第13代)、内閣府特命担当大臣(科学技術政策担当、経済財政政策担当)、党職としては社会民主連合副代表、新党さきがけ副代表、民主党代表(初代・第3代)などを歴任した。

目次

- 1 経歴
 - 1.1 生い立ち
 - 1.2 学生時代
 - 1.3 結婚
 - 1.4 弁理士時代
 - 1.5 政界入り
 - 1.6 非自民連立政権から自社さ政権へ
 - 1.7 厚生大臣として
 - 1.7.1 薬害エイズ事件
 - 1.7.2 不法投棄問題
 - 1.7.3 基礎年金番号制度の導入
 - 1.7.4 O157とカイワレ問題
 - 1.8 民主党結党から政権交代へ
 - 1.8.1 結党・初代党代表
 - 1.8.2 二度目の党代表就任
 - 1.8.3 代表代行時代(トロイカ体制)
 - 1.9 鳩山由紀夫内閣
 - 1.10 内閣総理大臣
 - 1.10.1 2010年9月民主党代表選挙
 - 1.10.2 東日本大震災への対応と菅おろし
- 2 主な政策・主張
 - 2.1 内政
 - 2.2 憲法
 - 2.3 外交・安全保障
- 3 人物像
 - 3.1 人柄・人物評
 - 3.2 政治家としての信念・言行
 - 3.2.1 政治家の原点
 - 3.2.2 パフォーマンス
 - 3.2.3 野党時代
 - 3.2.4 政権交代後
 - 3.3 批判・スキャンダルなど
 - 3.3.1 辛光洙釈放署名問題
 - 3.3.2 在日韓国人違法献金問題

 ● 日本の政治家
菅直人
 かん なおと



生年月日 1946年10月10日(64歳)

出生地 ● 山口県宇部市

出身校 東京工業大学理学部応用物理学科

前職 菅・高橋特許法律事務所所長

所属政党 (社会市民連合→)
(社会民主連合→)
(新党さきがけ→)
(旧民主党→)
民主党

称号 理学士(東京工業大学・1970年)
弁理士

親族 菅實(祖父)
姫井千恵子(おば)

配偶者 菅伸子

公式サイト 菅直人公式サイト

 ● **第94代 内閣総理大臣**

内閣 菅内閣
菅改造内閣
菅第2次改造内閣

任期 2010年6月8日 - 現職

天皇 今上天皇(明仁)

 ● **第13代 財務大臣**

内閣 鳩山由紀夫内閣

任期 2010年1月7日 - 2010年6月8日

 ● **内閣府特命担当大臣**
(経済財政政策担当)

内閣 鳩山由紀夫内閣

任期 2009年9月16日 - 2010年6月8日

- 3.3.3 日本人拉致事件容疑者親族の政治団体への献金問題
 - 3.3.4 女性スキャンダル
 - 3.4 その他
- 4 縁戚関係
 - 4.1 家族・親族
 - 4.2 系譜
- 5 主な所属議員連盟
- 6 略歴
- 7 著書
 - 7.1 単著
 - 7.2 共編著
- 8 脚注
 - 8.1 注釈
- 9 関連項目
- 10 外部リンク

	
内閣	内閣府特命担当大臣 (科学技術政策担当)
任期	鳩山由紀夫内閣 2009年9月16日 - 2010年1月7日
	
内閣	第85代 厚生大臣
任期	第1次橋本内閣 1996年1月11日 - 1996年11月7日
	
	その他の職歴
	 衆議院議員 (1980年 - 現職)

経歴

生い立ち

1946年10月10日、岡山県出身の父・菅寿雄の勤務先、山口県宇部市に長男として生まれた。本籍地は岡山県久米郡福渡町(現在の岡山市北区建部町)。父・寿雄は宇部曹達(現セントラル硝子)に勤める技術者^[1]だった(のち常務)。姉が一人いる。

少年時代は、幕末の志士・高杉晋作に憧れていた^[2]。

学生時代

小学校～高校

宇部市立神原小学校、琴芝小学校、神原中学校を経て、山口県立宇部高等学校へ進学。高校2年生の夏、父の転勤に伴い菅一家は東京都三鷹市に引っ越した。東京都立小山台高等学校2年に編入し、卒業。

学生運動

東京工業大学理学部応用物理学科(現・物理学科)に入学。在学中は学生運動にのめり込んだ^{[3][4]}。全共闘や民青からは一線を画した「全学改革推進会議」を立ち上げ、リーダーとして活動した^[5]。

大学紛争の影響で卒業研究が出来なかったため、紛争が収まった後できちんとやりたいとの自身の意向により一年留年^[6]。1970年に同大学を卒業した。最終学歴、東京工業大学工学部応用物理学科卒業。

結婚

詳細は「菅伸子」を参照

弁理士時代

技術者であった父から、会社内での技術者に対する不遇を聞かされており、本屋で見つけた弁理士の本で関心を持ち、有名企業に就職しても「自分の将来・先が見える等」の理由から弁理士を志す^[7]。弁理士という職種を選んだのは、「社会運動に関わりたい、そのためにはあまり拘束されない自営できる

道を確保したい」というのが最大の理由だった^[8]。

卒業後は小田島特許事務所に就職。在職中に弁理士資格を取得して独立し、「菅特許事務所」を開設する^[8]。

政界入り

菅は「あきらめないで参加民主主義をめざす市民の会」という名の市民グループを結成し^{[9][注 2]}、市川房枝の選挙事務所代表を務め、選挙参謀として尽力したことが政界入りのきっかけとなった^[注 3]。その後、「参加民主主義をめざす市民の会」の支援を得て、1976年の第34回衆院選に東京都第7区（当時）から無所属で立候補し落選したが^[注 4]、こうした活動が江田三郎の目に留まり、誘われる形で社会市民連合に参加した^[注 5]。

1977年の第11回参院選では社会市民連合から出馬したがまたも落選し、1979年の第35回衆院選では社会市民連合から名称を変更した社会民主連合から出馬し、またも落選したが、1980年の第36回衆院選で初当選。

社会民主連合では主な役職として1978年副代表、1985年に副書記長兼政策委員長を務めた。1986年の総選挙で社会民主連合は4議席を獲得したが、選挙直後に2人ずつ日本社会党会派と民社党会派に分かれて所属することになり（その結果民社党会派が日本共産党会派を数で上回り、議会内ポストを共産党会派に渡すことを阻止した）、菅は社会党会派に属した。この形式は、1990年の総選挙まで続いた。

1992年6月13日、PKO国会において、衆議院本会議で中西啓介衆院議院運営委員長の解任決議案に賛成の討論を行ったが、制限時間を過ぎても演説を続け、衛視に壇上から押し出され降壇させられるなどPKO協力法の成立に激しく抵抗した^[10]。

非自民連立政権から自社さ政権へ

KKライン

1993年に成立した細川非自民連立政権では、衆議院外務委員長に就任した。1994年の社会民主連合解散後は新党さきがけに入党。村山自社さ連立政権では、新党さきがけ政策調査会長として、政策調整に当たった。当時の自民党政調会長の加藤紘一とは「KKライン」と呼ばれ、この時代に「住専処理スキーム」が決定された。また、さきがけ東京代表として1995年統一地方選挙や第17回参議院議員通常選挙で党勢拡大に尽力。（参院選で東京都選挙区で中村敦夫を擁立、社民連時代から共闘していた生活者ネット結成以来初の国政選・推薦候補となったが田英夫平和・市民代表に数万票及ばず次点）

厚生大臣として

1996年1月、村山内閣総辞職後成立した第1次橋本内閣で厚生大臣（第74代）として入閣した。

またこの年に出版した著書『大臣』（岩波新書）は、前書きで自身が「現役政治家が岩波新書から本を出すとは異例だが」と書く通り、前代未聞の出来事でベストセラーとなった。

薬害エイズ事件

「薬害エイズ事件」も参照

薬害エイズ事件の処理に当たり、当時官僚が無いと主張していた行政の明白な過ちを証明する“郡司ファイル”（当時の厚生省生物製剤課長・郡司篤晃がまとめていたのでこの別名がある）を菅直人指揮の下にプロジェクトを組んで発見（ただし、厚生省における内部資料の検索は前任の厚生大臣である日本社会党の森井忠良が始めたものであり、前任大臣と官僚たちの功績を「横取り」したものであると飯島勲は指摘している^[11]）。血液製剤によるエイズに感染した多くの被害者たちに対して、初めて行政の責任

を認めた。さらにこの事件の菅の処理は、彼が対談を行っていたカレル・ヴァン・ウォルフレンらから、日本に初めて官僚の説明責任という概念を持ち込み、「アカウンタビリティ」という言葉を定着させたと評価された^[12]。

不法投棄問題

1996年8月、シュレッダーダストの大量不法投棄で問題になった香川県豊島(てしま)へ、厚生大臣としては初めて現地視察に入り、問題解決の端緒となった。

基礎年金番号制度の導入

菅の厚生大臣在任中に、基礎年金番号制度の導入が閣議決定された(導入は小泉純一郎が厚相だった1997年1月)。そのため、2007年の年金記録問題(「消えた年金記録」問題)について責任を問う主張があった^[13]。それに対して、菅は問題の原因は基礎年金番号の導入ではなく年金記録の名寄せ作業がしっかりできていなかったためであるとして「言いがかり以外の何ものでもない」と反論した^[14]。

O157とカイワレ問題

「O157」および「風評被害」も参照

1996年8月のO157騒動の時には、「大阪府内の業者が出荷したカイワレ大根が原因となった可能性は否定できない」と発表。その直後からカイワレ大根への風評被害が発生し、結果倒産・破産するカイワレ農家や業者(その大半が自営業者や零細企業であった)が続出、自殺者まで出る事態となった。しかし、立入検査においては施設、従業員および周辺環境からはO157は検出されなかった^{[15][16][17][18]}。

これらの経緯を受け、菅は記者会見の場でカイワレのサラダを食べることで、安全性のアピールを図った。一方で「O157以外の通常自然界に存在するはずの細菌も一切検出されなかったのだから、事件後消毒されたことは明白で証拠隠滅が図られた」などと主張した。この問題については、東京と大阪で風評被害を受けたカイワレ大根生産業者らが起こした国家賠償を求める民事裁判では、最高裁で平成15年5月21日に国側敗訴が確定している^{[19][注 6]}。大阪地裁での判決について、菅は、ホームページ上で「十分な科学的根拠がない」と判決が認定した疫学調査は、集団食中毒などでは極めて有効な調査方法であるとして「裁判官の判断は疑問」と反論した。^[20]

民主党結党から政権交代へ

結党・初代党代表

1996年9月28日、新党さきがけの鳩山由紀夫が旧民主党を旗揚げすると、これに菅も参加した。菅は鳩山と共に代表となり旧民主党がスタートした。結党当初は衆議院議員50人、参議院議員5人の計55人が参加した。1998年4月27日に新進党分党後に誕生した統一会派「民主友愛太陽国民連合(民友連)」と合流して、新民主党を結成し、代表となる。合流当初は衆議院議員98人、参議院議員38人の136人が参加した。

1998年7月12日の第18回参院選で27議席を獲得する。

橋本龍太郎首相は敗北の責任から内閣総辞職に迫られた。総理大臣指名選挙では、自由党と日本共産党は第一回投票から菅に投票し決選投票では公明・改革クラブ・社民党・さきがけの支持もあり参議院では首相に指名されたが、衆議院の優越により衆議院の議決で指名された小淵恵三が首相となった。

1998年の金融国会では、「われわれの要求が受け入れられれば政府の退陣は求めない」と発言し、所謂政策新人類と呼ばれた自民党若手議員らとともに、金融関連再生法案の策定に励み、実際に丸呑みと揶揄されるほど、菅らの主張が受け入れられたが(ただし、菅は雑誌で不良債権発生当時の都市銀行役員等の刑事責任を問えと雑誌で発言した事があるが、これは受け入れられなかった)、小沢一郎

は「参院選で大勝した直後に政局にしないとは弱腰極まりない」と批判するなど、この言動に対する評価は二分された。菅の金融問題への対応は素早く、経済学者金子勝は朝まで生テレビにて菅を、政治家としては最も早く金融に着目・解決のためのスキームをまとめさせたとして、菅の功績を評価する発言をしている。

1999年(平成11年)に2回行われた民主党代表選挙では、1月には再選するも松沢成文に善戦を許し、9月には鳩山由紀夫に敗北したが、党政策調査会長に就任した。

二度目の党代表就任

2000年(平成12年)に党幹事長に就任。2002年(平成14年)に鳩山由紀夫代表が辞任すると、岡田克也幹事長代理と代表選を争い、党代表に再び就任。次の内閣総理大臣にもあわせて就任した(社民連時代は社会党シャドーキャビネットに入閣しなかった)。

民由合併・マニフェストの導入

2003年9月26日に小沢一郎が党首を務める自由党との合同を実現した(民由合併)。

同年11月9日の第43回衆院選では「高速道路の原則無料化」、「小学校低学年の30人以下の学級実現」などをマニフェスト(政策綱領)に掲げ、公示前勢力を大幅に上回る177議席を獲得し、比例代表では自民党を上回った。菅は党代表として、やがて衆院選を迎えるに当たり、時の小泉首相に対し、自民党はマニフェストを国民の前に提示するのかどうかを迫り、期限や事後チェック付きの政権公約としてのマニフェストと従来の公約との違いを自民党にも明確化するよう迫った経緯がある(2003年7月18日予算委員会)。小泉首相は、政党統一の政権公約として期限や事後チェックなどマニフェストとしての扱いを受けることを嫌い明言を避け続けていたが、実際に2003年衆院選が行なわれる段になると、小泉自民党を含む主要政党のほとんどがマニフェストを掲げて選挙戦を戦うこととなった。菅個人は、この2003年衆院選において初めて比例を辞退して小選挙区のみで出馬し、比例上位優遇で国替えしてきた鳩山邦夫に完勝した(ただし、鳩山邦夫も比例復活)。

年金未納問題・党代表辞職へ

「政治家の年金未納問題」も参照

小泉内閣の閣僚の国民年金未納が相次いで発覚した際、菅は街頭演説で「ふざけてますよね。“未納三兄弟”っていうんですよ」と自民党議員を批判し、年金未納問題に火を付けることとなった(“未納三兄弟”は、1999年に流行った歌“だんご3兄弟”にちなむ)。年金未納閣僚は、3人に留まらず、その後も続々と発覚し続けた。これをチャンスと捉えて民主党「次の内閣」全員の国民年金納付書を公開して国民にアピールしようとしたところ、菅自身の厚生大臣時代の年金未払い記録が明らかとなった^[21]。菅は行政側のミスであると何度も主張したが、行政側がその都度強く否定し、マスコミ報道等による世論の風当たりにより、同年5月10日に党代表を辞任せざるを得ない状況に追い込まれた。菅の代表辞任後、社会保険庁側から間違いを認めて国民年金脱退手続きを取り消したこと、同期間に国民年金の加入者であったことを証明する書面が送付された^[22]。菅が主張したとおり国民年金の資格喪失は「行政上のミス」によるものであるにも拘らず、事後納付もできないため、未納は解消されず(未納期間2ヶ月)。政治評論家の岩見隆夫からは「菅氏の国民年金未加入問題は、本人の申し立て通り『行政上のミス』であった。当時、菅は辞めたほうが良いと書いたことは誤り、お詫びします」としつつ「自身の無年金のおかしさに気づき、対応しなかったのは、政治家としてうかつさがあった」といった指摘もなされた^[23]。

同年7月、菅は年金未納騒動を吹っ切り自己を見つめ直したいという意図から伝統的な「お遍路さん」スタイルで四国八十八カ所巡りを開始した^[24]。また、この間法政大学大学院の客員教授に就任し、「国民主権論」と題して講義を行った^[25]。

2005年(平成17年)9月11日の第44回衆院選(小泉首相の解散による郵政選挙)では、東京都の民主党候補では僅差ながらも唯一小選挙区での勝利を果たした。なお、この郵政選挙では、長年の宿敵と言われた土屋正忠武蔵野市長(当時)が自民党公認(比例単独2位)でついに立候補し、事実上の一騎打

ちとなった。郵政民営化・刺客選挙を展開して時流に乗る自民党に対し、民主党は党全体が大逆風を受けていたが、そんな中、菅は全開票所で勝利し、面目を保った(土屋正忠候補は比例復活当選)。

同年9月17日民主党敗北を受けて党代表を辞任した岡田克也の後任を決める党代表選挙に立候補し、小沢一郎からも本命視されていたものの、投票直前の演説で若き日からの辛酸と情熱を巧みに訴えた若手の代表格前原誠司に2票差で敗れた。その後、党国会対策委員長就任を要請されたが、これを固辞し、一兵卒として前原民主党を支えると表明した。

党代表戦に敗れた後は、団塊の世代を取り込むための「団塊党」なる運動や、バイオマスの活用を盛んに提唱し始めた。

代表代行時代(トロイカ体制)

2006年4月7日、「堀江メール問題」による前原執行部総退陣を受けて行われた代表選挙に再度立候補し、小沢一郎と激しく争い47票差で敗れた。その後、党代表代行に就任。代表に就任した小沢一郎、幹事長の鳩山由紀夫と菅の3人による挙党一致体制はトロイカ体制と呼ばれ、2009年の政権交代の原動力となった^[26]。2009年5月に小沢が西松建設の違法献金疑惑に関連して自身の公設秘書が逮捕された件で辞任すると、後任の代表となった鳩山由紀夫により、引き続き党代表代行に再任された。小沢一郎も代表代行に就任しトロイカ体制は継続された。党代表代行として国会論戦について主に担当し、国会での代表質問、テレビ出演などを積極的にこなした。

鳩山由紀夫内閣

2009年9月16日、鳩山由紀夫内閣発足により、内閣府特命担当大臣(経済財政政策・科学技術政策担当)に就任した。あわせて、国務大臣として「税財政の骨格や経済運営の基本方針等について企画立案及び行政各部の所管する事務の調整」も担当することになった。内閣法第9条に基づく内閣総理大臣臨時代理の指定順位は第1位となり、いわゆる「副総理」格としての入閣となった。ポスト鳩山の呼び声もあったが、国家戦略局設置のための法案の年内での国会提出が見送られ、その前身となる国家戦略室もうまく稼動していないとされ^[27]、当初、国家戦略相として予算編成の「司令塔」を期待されながら、その役割を果たせていないとも評された。一方で、政府の新成長戦略策定ではこれを主導する役割を果たした^[28]。

2010年1月7日、財務大臣の藤井裕久の体調不良による辞任に伴い、後任の財務大臣に横滑りの形で就任した(内閣府特命担当大臣(経済財政政策担当)は引き続き続投)。財務大臣就任会見で、「90円台半ばあたりが適切」と具体的な為替水準にまで言及する円安誘導発言を行い話題を呼んだほか、財務大臣として日銀に対しより一層の金融緩和を進めるよう働きかけた。一方で、国会質疑の場で乗数効果、消費性向などについての質問を受けると答に窮し、質疑を止めて官僚を呼ぶ^[29]など財政政策に対する理解の浅さを指摘された場面もあった。鳩山内閣の支持率が低下する中、菅は各種世論調査で「次期首相にふさわしい人物」の上位に位置する^[30]などポスト鳩山の有力候補の一人と目された。

内閣総理大臣

2010年(平成22年)6月2日の鳩山首相の退陣表明を受け、後継を選出する民主党代表選挙への出馬を表明。6月4日、民主党代表選挙に勝利し、同日の首班指名選挙によって第94代内閣総理大臣に指名され、6月8日に正式に就任した。

「合法的に特許業務可能な職業経験者たる日本国総理大臣」・「東京都選出国會議員たる日本国総理大臣」は鳩山一郎以後、半世紀以上の空白を得て誕生した。

2010年9月民主党代表選挙

「2010年9月民主党代表選挙」も参照



2010年6月25日、第36回主要8か国

2010年6月の民主党代表選挙において菅が出馬表明すると小沢一郎の党運営に不満を持っていた枝野幸男、仙谷由人らが菅の支持に回った。これに対し小沢グループは菅の対抗馬の擁立を模索し、樽床伸二が名乗りを挙げた。選挙の結果、樽床を破った菅は、反小沢の急先鋒ともいわれた枝野、仙谷をそれぞれ党幹事長、官房長官に起用し、小沢の意向により廃止された政策調査会を復活させた。また小沢、鳩山代表時代に作成されたマニフェストの一部修正にも取り掛かった。こうして政権交代の原動力とも言われたトロイカ体制は崩壊し、マスコミなどから"脱小沢"とも称される路線に傾いていくこととなる。こうした動きを世論はおおむね評価し、内閣支持率は60%前後という高水準で内閣は出発した。

首脳会議にてドミートリー・メドヴェージェフと

しかし、2010年7月11日投開票の第22回参議院議員通常選挙では菅の消費税をめぐる発言の迷走などがひびき、獲得議席は現有の54議席を大きく下回る44議席にとどまった。この結果、参議院で過半数を失うねじれ状態となり、菅の党内における求心力は低下した。9月に行われる党代表選に向け、菅は再選に意欲をみせるが、とくに小沢に近い議員グループを中心に党執行部の参院選敗退の責任を問う声が強まり、小沢を擁立する動きも加速した。こうして現職の総理と党内最大派閥の領袖の全面対決の構図となり、党分裂も懸念される事態となる中、前首相の鳩山由紀夫が菅、小沢両者の仲介に乗り出した。鳩山は菅に小沢の出馬見送りと引き換えに枝野幹事長、仙谷官房長官の更迭や小沢の要職での起用、トロイカ体制に輿石参院会長を加えた「トロイカ+1」体制の構築などを菅に要請^[31]。告示直前まで両者の調整が行われたが、菅は密室談合となるのを懸念し両者折り合わず、最後に菅-小沢会談が行われたが、結局物別れに終わった^[26]。鳩山はこれまでの菅続投支持から一転、小沢支持を表明。これを受け小沢は告示日である9月1日に出馬表明し、代表選での菅との直接対決に突入した。

この代表選において両陣営の激しい多数派工作が行われ、立会演説会における動員が指摘される^[32]など激しい選挙戦となった。政策面では金銭問題が取りざたされる小沢を意識し、菅はクリーンでオープンな党運営や雇用政策の重視を主張し、一方の小沢は衆議院総選挙での2009マニフェストの順守、地方への紐付き補助金の一括廃止、早期の消費税率アップの反対など主張した^[33]。

9月14日に国会議員による投開票が行われた結果、菅は小沢一郎を下して再選を果たした^[34]。小沢の出馬表明当初は党内最大グループを率い、鳩山グループの支持を取り付けた小沢が国会議員票では優勢との見方もあった^[35]が、菅は報道各社による世論調査で小沢を大きく上回る支持を得たことを背景に攻勢を強め^[36]、最終的には国会議員票でも小沢を上回った。

代表選挙後に行われた内閣改造・民主党役員人事では、仙谷官房長官は留任、枝野の後任の幹事長に外相の岡田克也、岡田の後任の外相に前原誠司を充てるなど非小沢系が要職に起用され、結果的に「脱小沢」を強化した形となった^[37]が、副大臣・政務官人事では小沢グループからも多数起用し、党内融和に一定の配慮を示したとも見られている^[38]。

この代表選で再選されたことにより内閣支持率は急速に回復するが、代表選期間中に発生した尖閣諸島中国漁船衝突事件への対応が批判を浴びたことなどにより支持率は再び低下に転じた。

東日本大震災への対応と菅おろし

2011年に入って以後も政権の低迷は続き、前原誠司が自身の外国人献金問題で外務大臣を辞職した外、菅自身にも外国人献金問題が降りかかるなど苦境が続く。

3月11日には東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)及びそれに付随する形で福島第一原子力発電所事故が発生する。これを受けて菅は内閣総理大臣として地震災害並びに原子力災害の対策の陣頭指揮に当たった。

5月6日には緊急記者会見を開催し、中部電力浜岡原子力発電所に対する「(迫りくる東海地震への)安全確保がなされるまで原子炉運転を停止するよう」指示を出す^[39]。

菅は震災の発生を機に国会のねじれを解消し、復興対策を円滑に進めるため、自民主党に対し大連立を打診したが、結局、不発に終わった^{[40][41]}。これに加え、4月に行われた統一地方選で与党が敗北する

など、与党・民主党内でも菅政権に対する不満が募り、小沢一郎を中心とする民主党一部勢力が「菅おろし」への動きを活発化させるようになる^[42]。

そして6月2日、菅の地震・原発災害への対応が不十分であるとして野党の自民・公明両党により内閣不信任決議案が衆議院本会議に提出・上程された。小沢に近い議員を中心に野党の不信任案に同調する動きが強まり、前首相の鳩山由紀夫も同調する構えを見せ、一気に不信任決議の可決や党の分裂が懸念される事態となった。菅は不信任決議投票の本会議を前に鳩山と会談し、自らの退陣を匂わせて不信任決議案に反対させる合意を取り付け、その後の民主党代議士会で「震災対応にメドをつけたら若い人に責任を引き継いでもらいたい」と語った。これを受けて小沢グループは不信任案に同調する方針を撤回し、当日の衆議院本会議で内閣不信任決議案は否決された^[43]。

その後、「震災対応のメド」がいつになるのかという解釈をめぐり、政権内でも見方が分かれ、官房副長官の仙谷由人など閣内の一部からも早期退陣論が出ており^[44]、菅が退陣した上での大連立を模索する動きもあるが^[45]、菅自身は、自然エネルギー庁構想を掲げ^[46]、再生エネルギー法案を通そうと模索し、続投することに意欲をみせている^[47]。

7月1日、衆議院議員会館の首相事務所に首相辞任を求める脅迫文と刃物が郵送される事件が起きた。自民党幹部、小沢一郎元民主党代表に対し「天誅を下す」と記載され、「赤報隊一同」と名乗っていた^[48]。

主な政策・主張

内政

- 自身の目指す政治路線として、「自由主義と社会民主主義を統合・融合した第三の道」にたびたび言及している^[49]。
- 経済・財政政策に関しては財務大臣時代の「増税しても使い道をまちがえなければ景気はよくなる」「第二のケインズ革命を起こす」などの発言から、政府の役割を重視するケインジアンをもじって「カンジアン・エコノミクス」とも称されている^[50]。
 - 2010年の参議院議員選挙の直前には自由民主党の案を参考にして消費税増税（およびそれを財源にした法人税減税）を含む税制改革に取り組むことを主張したため、中小企業や自営業者を切り捨てるものであるという批判が出た^[51]。
 - 日本経済の活性化のためとして環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への参加を打ちだし^[52]、賛否両論を引き起こしたが、東日本大震災の影響により先送りとなっている^[53]。
- 長崎県諫早湾干拓事業に対して、自然環境保全の観点から反対を表明していた。そして1997年4月、水門が閉められる正にその時間に現地事業事務所を訪問し、テレビカメラの前で「誰の指示でやっているのか。責任者を出せ」と述べた。なお、首相在任中の2010年12月に、福岡高等裁判所が「5年間の潮受け堤防排水門開放」を国側に命じる判決を下すと、上告の断念を表明した。
- 首相の在任期間について「首相というのは少なくとも4年間は同じ人物が続けるべきだ。常々、鳩山首相にも言っている」^[54]と述べた。一方、参院選で自民党が大敗し、ねじれ国会となった際には「安倍首相が総理の座にいるかぎり国民が納得できる政治はできない」^[55]などと早急に辞任や解散をすべきと発言している。
- 1999年7月衆院本会議、所属する民主党の党議拘束が外された国旗国歌法案の議決の際、民主党の一部議員や共産党、社民党と同じく、法案に反対した。また鳩山由紀夫内閣発足後初の閣僚記者会見では、他の一部閣僚と同様、登壇・降壇時共に会見場に掲揚された国旗に礼をしなかった。こういった経緯もあり、保守系勢力からの批判が多い。なお、首相就任後に行われた2010年（平成22年）6月14日の衆議院本会議での代表質問に対する答弁では「今は常に国旗があるところではきちんと敬意を表し、国歌斉唱もしている」と述べている^[56]。
- 自然エネルギーによる発電の普及、促進のため「自然エネルギーによって発電した電気を固定価格で買い取る」という固定価格買い取り制度を進めている^[57]。

為替政策

- 2010年1月7日1ドル＝92円前後で推移してきた外国為替相場について「経済界では90円台半ば

あたりが適切という見方が多い。もう少し是正が進み、円安が進めばいい」と述べ、95円前後の水準が望ましいとの考えを示した。この発言を受け、東京外為市場では円売り・ドル買いが加速。円は50銭以上も下落し、1ドル=92円台後半で取引された^[58]。また、2010年9月14日に行われた代表選で再選された翌日、日本では6年ぶりとなる為替介入を実施。菅は翌週に行われた英紙フィナンシャル・タイムズとのインタビューで、為替に急激な変化があれば、外為市場への介入は「不可避」との考えを示し、「経済政策、金融政策など、トータルとして為替が低い水準になるような結果をもたらす政策が必要だと思う」と述べている^[59]。

憲法

- 憲法改正論議に対しては、代表時代に「日本の国のあるべき姿を示す新たな憲法を作る」とした「創憲」を唱えており、「憲法発布から60年目に当たる2006年までに国民的運動を集約する形で民主党として新たな憲法のあり方を国民に示せるようにしたい」と主張していた^[60]。

外交・安全保障

- 日本における外国人参政権については、「憲法上は禁止されていない」と肯定的な見解を示している^[61]。
- 外国人観光客を増加させるため、厳しい入国管理を改めなければならないと、2010年2月22日の衆議院予算委員会で見解を示している。
- 防衛に関しては、自衛隊に治安維持活動、国際協力を行う部隊の創設を政策として持っている^[60]。
- 台湾問題に関しては台湾の国連加盟を中華人民共和国が容認し、国連加盟国同士の問題として国連の場で平和的解決を目指すべきと主張している^[62]。
- 2010年8月6日、広島原爆式典において「核抑止論」を持ち上げ、広島市長から遺憾の意を表明されるとともに、被爆者の団体から強い批判を浴びる。
- 菅の拉致問題への政策は、拉致被害者全員の原状回復・核問題の解決・国交正常化・経済支援の三本柱を別々に行うのではなく、パッケージとして行う政策を提唱している。
- 日米関係について、「政治的には日米同盟が果たしてきた役割は大きかったし、これからもアジア、世界の安定のために最も重要な関係だ^[63]」と述べた。
- 2010年8月、菅直人は日韓併合100周年に関する総理談話を発表した。また、この談話に沿って韓国政府との間に植民地時代に日本へ渡った朝鮮半島由来の「朝鮮王朝儀軌(ぎき)」などを韓国へ引き渡す日韓図書協定が結ばれた。この件については、野党自民党だけでなく、民主党内部からも賛否両論を引き起こした。



2010年6月27日、日米首脳会談後の記者会見にてアメリカ合衆国大統領バラク・オバマ(右)と

人物像

人柄・人物評

- 1994年から首相を務めた村山富市以来の、政治家一族出身ではない「非世襲」の首相とされるが、祖父である菅實は地元の議員を務めていた。「たたき上げ政治家として、世襲の『お坊ちやま首相』(安倍晋三や麻生太郎)とは違う、たくましさを見せてほしい(中堅)と期待する声がある^[64]。
- 癩癪持ちで短気な性格で知られ、厚生大臣時代は大臣室から怒鳴り声も漏れることもしばしばだった。そのため、「イラ菅」というあだ名を持つ^[65]。
 - 『週刊新潮』(2010年6月17日号)28頁「菅直人の研究」によれば、民主党関係者は「指示に対して“できません”と答えた官僚に灰皿を投げ付けたり、自分が書類を無くしたのに秘書を怒鳴り散らす。地方に選挙応援に行った際同行していた民主党の職員が菅と同じ車に頑として乗ろうとしなかったこともある。“ここに来るまでも散々やられた。勘弁してほしい”と別の車に逃げ込んでしまったんです。」と述べている。
 - 2006年代表選では、かつて菅に怒鳴られた経験から支持を渋る若手のエピソードも紹介さ

れた。

- 2009年1月13日の衆議院予算委員会において当時の自民党国会対策副委員長の村田吉隆が許可なくカメラ撮影していたのを発見し、即座に詰め寄って抗議をするなどしている。村田のカメラは衛藤征士郎予算委員長が没収した。
- 首相就任後の2010年6月11日、取材の記者団から、「所信表明演説について、具体性がないという批判があるが？」と質問され、一変した陰しい表情で「何の批判か？」「何故批判が出ているのか？」などと、逆に記者を問い詰めた^[66]。
- 政治家としての変わり身の早さから三木武夫、武村正義と並ぶ「バルカン政治家」(欧州の火薬庫といわれ駆け引きにあけくれたバルカン半島にちなむ)ともいわれ、「バル菅」とも称されている^[67]。
- 恐妻家であり、戸野本優子との不倫騒動(後述)後には「(妻から)『バカたれ』と叱られた」と釈明した^[68]。首相在任中の2011年2月には、夕刊フジにおいて、その月の公邸での食事を含めた夕食の7割に夫人を同伴させているとして「伸子依存症」と報じられた^[69]。
- 仙谷由人は菅を「地盤(後援組織)、看板(知名度)、カバン(資金)なく、まったく無名の青年が言葉と政局観、政治観で、ここまでこられた」と評している^[70]。
- 言動については「言った・言わないのトラブルが多い」「不都合な発言ならなかったことにしてい、とでも考えているのか」(岩見隆夫)^[71]「『思いつき』だけの軽はずみな発言を続ける」(阿比留瑠比)^[72]などの批判がある。2011年6月に内閣不信任決議案への対応として、一旦退陣する意向を示唆しながら続投への意欲を見せた際には、退陣を促した鳩山由紀夫から「ペテン師」と厳しく非難された^[73]。



2010年6月25日、第36回主要国首脳会議にて

政治家としての信念・言行

政治家の原点

- 高校時代に読んだオルダス・ハクスリーの『すばらしい新世界』の影響を受け、自身の政治哲学として「最小不幸社会」の実現を掲げている^[74]。

2010年(平成22年)6月8日の総理大臣官邸での記者会見の際には、「政治の役割は国民、世界の人々が不幸になる要素をいかに少なくする『最小不幸社会』を作る事だ」と述べた^[75]。その中において、「たとえば恋愛とか、あるいは自分の好きな絵を描くとか、そういうところにはあまり政治が関与すべきではなくて、逆に貧困、あるいは戦争、そういったことをなくすることにこそ政治が力を尽くすべきだと、このように考えているからであります。」と発言した。

- 1978年度版の平凡社百科年鑑に名前が載るなど、議員になる前から市民運動家として活動していた。

当時菅の選挙を手伝っていたジャーナリストの下村健一(元TBSアナウンサー)によると、「初当選から十年で自民党に対抗しうる勢力をつくり、その後十年で天下をとる」話を聞かされていたという(因みに下村以外に当時学生だった久和ひとみも菅の事務所に出入りしており、選挙の際はウグイス隊長を務めた。また、歌人の俵万智も久和の下でウグイス嬢を務めた)。

- 自身の好きな偉人として高杉晋作の名を度々挙げており、菅は「高杉を一番好きな理由は、逃げ足が速いことなんだ。当時の長州は勤王派がとったり、佐幕派がとったりしたでしょ。代わるたびに腹を切らなきゃいけないんじゃないかね。潔く腹を切るのは、一見いいけれども、それはあきらめだ。」^[76]と語っている。

パフォーマンス

自身のO-157に関連する対応でカイワレ大根が打撃を受けた時には、カイワレ大根、狂牛病が騒がれると牛丼、トリインフルエンザが騒がれると焼き鳥をそれぞれ食べた。自著『大臣』で、カイワレ大根を食べるプレゼンテーションは知り合いの雑誌編集者からのアドバイスだったことを明らかにしている。なお、カイワレ大根のパフォーマンスについては、東京地裁の判決文において、「(カイワレ業者などが)納得するのであれば、批判の限りでない」が「(カイワレ大根がO-157に汚染されていたという)自ら招いた疑いを解くことができると期待してのことであれば、国民の知性を低く見過ぎるのではあるまいか」と批評されている^[77]。ただしこの種のパフォーマンスとしては菅が最初ではなく、水俣病問題で三木武夫が魚を食べるパフォーマンスをした例がある。

野党時代

民主党代表として

- 中尾則幸は1998年第18回参議院議員通常選挙で当初は北海道選挙区から出馬を希望していたが、定数8から4(改選議席4から2)に変更されたことで92年初当選同期の現職峰崎直樹に同候補の座を奪われ比例区へ転出。さきがけ時代からの同志で中尾の後見人的存在であった幹事長代理鳩山由紀夫が民主党代表の菅に「くれぐれも、犠牲を払った中尾君が再選出来るように宜しく頼む」と上位にランクするように依頼したが結果は当選圏外。それ以後の鳩山は菅に対して不信感を露わにし、(中尾の友人)でジャーナリストのばばこういちにまで吐露した。
- 2002年5月6日に南京大虐殺記念館を訪問しており、館内を見学した後に犠牲者に向けて花輪を捧げた。小泉純一郎首相が同時期に靖国神社を訪問した事について菅は「断固として反対する」と強調した^[78]。

「一億総白痴化装置」発言

菅は2006年1月放送の討論番組『朝まで生テレビ』の中で、ライブドア・ショックについて論じた際、大宅壮一の名を出し、彼の「テレビは一億総白痴化装置」という言説を引用して、これを「見事に言い当てている」と肯定した。これを聞いた司会の田原総一郎が「(国民は)白痴化になったかね?」と確認すると「なりました。その証拠に自民党が選挙に勝った」「言い当ててるじゃないですか」と返答。田原は「(国民は白痴に)なってないよ!」と反論したが、菅は「(国民は本を)読まなくなったじゃない」と大宅の主張を肯定し続けた^[79]。

YKKK

かつては自民党の山崎拓、加藤紘一、国民新党の亀井静香としばしば意見交換を交わすなど連携を深めており、4人の頭文字から「YKKK」とも称されていた。山崎は2008年12月14日に4人そろって出演したテレビ朝日系の番組サンデープロジェクト内において「この4人が政界再編の一つの軸となり得る」と強調、その動向が注目された^[80]。

「子供の生産性」発言

2007年1月、柳澤伯夫厚生労働大臣の「産む機械」発言が政治問題化した際、代表代行としてこれを批判したところ、2月6日、自民党中川秀直幹事長によって、「東京は日本で一番生産性の低い大都市。何の生産性か、それは子どもの出生率において…」という民主党大会(2007年1月)における菅の演説が中川のホームページで取り上げられ、「出生率と生産性を結びつけるということは、出産と機械が結びつくことではないのか」と反撃されたのを皮切りに、翌日、公明党議員からも、名古屋市内での演説(2007年1月18日)や、山陰中央新報のインタビュー(2006年8月5日)における同様の発言を非難され、波紋を呼んだ。これら「産む生産性」発言の真意については、「12月の衆院本会議で同様の趣旨の発言をしているので議事録を読んでください」、「生産性のいい景気のいい地域では、出生率の点では低いところが多い」と弁明した後、自身のホームページで「広辞苑によれば、生産という言葉には出産という意味がある」と反論した。

東京都知事選挙

2007年4月の東京都知事選挙への出馬待望論が民主党内でたびたび沸き起こった。背景には民主党が都議会で与党だったにも拘らず独自候補の擁立を図る小沢執行部の方針と人選がなかなか決まらぬお家事情があり、党中央の要職にある菅本人が出馬の可能性を否定し続ける中、石原慎太郎東京都知事に對抗できる目玉候補として朝日新聞などにも立候補を促され続けたが、これまでどおり「国政に携わり政権交代を実現する」ため「太陽が西から出ても、出ることはない」と固辞を貫いた。その一方で浅野史郎前宮城県知事など党内外の知名度の高い人物に出馬を打診したとされるがことごとく失敗した。この問題では、菅直人と親交関係にある五十嵐敬喜法政大学教授らが立ち上げた市民団体「浅野史郎さんのハートに火をつける会」(現都民のハートに

火をつける会)などの説得に応える形で浅野が立候補を決意したことで、民主党は独自候補の擁立を見送って社民党などととも支援に回る事となったが、浅野があまり都政に精通していなかったことやなかなか決断せず立候補の表明が遅れたこと、さらに日本共産党が擁立した吉田万三前足立区長との一本化に失敗したことが響き、浅野は石原知事に惨敗した。

自公政権に対して

- 2004年10月23日に発生した新潟県中越地震について「あい続く天災をストップさせるには昔なら元号でも変えるところだが、今必要なのは政権交代ではないか」と公式ウェブサイトで発言し^[81]、不謹慎と批判されたため翌24日に謝罪している^[82]。
- 2008年2月、民主党道路特定財源・暫定税率問題対策本部長として、小沢代表のもとでガソリン国会の陣頭指揮を取り、国会論戦、テレビ出演、地方視察を行った。この中で自民党の二階俊博、古賀誠などを、道路族幹部として激しく批判した。
- 麻生内閣に対しては、「(安倍総理や福田総理の辞任による)自民党の中のたらい回し、表紙の付け替えに過ぎず、生活は決して良くなっておらず、あらゆる面で行き詰まりを見せており、こうした行き詰まりを革命やクーデターではなく、選挙を通じて打開していくことが民主主義の力だ」と批判し、一刻も早い衆議院解散・総選挙の実施を訴えた^[83]。また衆議院予算委員会で度々質問に立ち、菅の質問、麻生の答弁がマスコミに頻繁に取り上げられた。
 - 東京都町田市の街頭演説会で麻生内閣が景気対策として提案している定額給付金を毒まんじゅうとして「毒まんじゅう分離法案を与野党で通して雇用対策などを実行し、解散して国民の信を問うべきだ」と語った^[84]。
 - 2009年2月4日、衆院予算委員会で麻生首相に「民主党の経済対策は真水で57兆円、総額87兆円。この方が国民のためになる」とアピールしたが、与謝野馨経済財政担当相は「数字の競争ならばいくらでもできる」と真面目に取り合わなかった^[85]。
 - 麻生太郎首相に対しては、「『一流ホテルのバーが安い』という感覚そのものが問われている。『安いところで酒を飲む』と言うと、われわれの感覚では焼き鳥屋だ」と連日の高級ホテルで政財界の要人と会談していることを批判した^[86]。一方、自身も総理大臣就任後に平均予算2万円以上の高級レストランで側近や夫人と連日の会食を続けている^{[87][88][89]}ことについて、客層の限られる高級店のほうが警備は容易であるとの理由が挙げられている^[90]。

政権交代後

- 『WILL』2009年10月号において、「除名覚悟で民主政権を内部告発する！」と称する論文を掲載する^[91]など、所属政党である民主党を激しく批判した板橋区選出東京都議会議員の土屋敬之に離党を勧告。土屋は、離党勧告の撤回と質問への回答を要求する抗議文を都連宛に送付している^{[92][93][94]}。現在、東京地方裁判所において係争中。土屋自身は日本創新党に入党した。
- 2010年6月19日、さいたま市で行った街頭演説で、「(日産自動車の)ゴーン社長は、首切りがうまかったから高い給料をもらっている」「首切りが上手い経営者は、優れた経営者だと言って、沢山の給料をもらっている」「全ての会社が日産と同じように、首切りを沢山やった人間ほどが、社長として偉いと言うことになったら、日本中失業者があふれてしまう」と述べた^{[95][96]}。

これに対し、新自由主義の経済学者池田信夫は、自身のブログで、「日産の業績が回復した最大の原因は「大量解雇」ではなく、円安で輸出が大幅に増えたからなのだ」「日産がリストラしていなかったら倒産して、もっと多くの人が職を失っただろう。」とした上で、「一国の首相が、企業の経営者を名指しで「首切り上手」などというのは、ほとんど名誉毀損である。菅氏はいつもこの嘘を繰り返しているようなので、日産の広報部は官邸に抗議したほうがいいのではないか。」と批判している。^[97]

- 菅は自著のなかで、自民党出身の首相が安倍晋三→福田康夫→麻生太郎といずれも短期間で交代したことに対し、「政策的に行き詰まったり、スキャンダルによって総理が内閣総辞職を決めた場合は、与党内で政権のたらいまわしをするのではなく、与党は次の総理候補を決めたうえで衆議院を解散し、野党も総理候補を明確にしたうえで総選挙に挑むべきだろう。」^[98]と、これを批判していた。鳩山由紀夫前首相の退任後、菅自身が首相に就任したことに対して、谷垣禎一自民党総裁からは、衆議院本会議で「(著書に書いたことと異なり、与党内での政権たらい回しであり)言行不一致である」と追及を受けている^[99]。

「もう沖縄は独立した方がいい」発言及び国防政策

- 副総理・国家戦略担当相だった2009年9月の政権交代直後、民主党の参院議員である喜納昌吉（党沖縄県連代表）に対し、「基地問題はどうにもならない。もうタッチしたくない」「沖縄問題は重くてどうしようもない。もう沖縄は独立した方がいいよ」などと語っていたことが2010年6月15日に判明した^{[100][101]}。
- 2010年8月19日、自衛隊制服組との意見交換会において「改めて法律を調べてみたら『総理大臣は、自衛隊の最高の指揮監督権を有する』と規定されており、そういう自覚を持って、皆さん方のご意見を拝聴し、役目を担っていきたい」と発言した。またこの意見交換会の前に、北沢防衛大臣に対して「ちょっと昨日予習をしたら、(防衛)大臣は自衛官じゃないんですよ」と発言した^[102]。

震災対応

- 2011年の福島第一原子力発電所事故の際には、自ら東京電力本社に乗り込み、ここを統合対策本部として東京電力の幹部たちを叱咤した^[103]。
- 震災対応に対する指導力不足も指摘されている^[104]。東日本大震災の被災者の仮設住宅入居について「何としてもお盆までにすべての希望する人が仮設住宅に入れるように、私の内閣の責任として実行する」と述べたことについて自民党の野村哲郎は「根拠がない」と批判し^[105]、後にそれが菅の個人的な目標であったことが明らかになると同党の林芳正は「リーダー失格」と批判した^[106]。

菅語

- 2011年6月2日、震災・原発事故の収束に一定のメドがついた段階での辞任を示唆した^[107]と報道されたが、7月6日に「辞める、退陣するという言葉を私自身、使ったことはない」と述べた^[108]。
- 7月13日の「原発に依存しない社会」^[109]との表現が「原発がない社会(脱原発)」と受け取られ、経済界から批判される一方で菅のTwitterには称賛の声が寄せられている^[110]。これについては、長年、反原発を唱えてきた弁護士で、ジャーナリストの肩書も持ち、イタリアの極左テロ組織「赤い旅団」との関係も指摘され赤い旅団メンバーの弁護をしたと本人が述べたという噂もあるイタリア人、ピオ・デミアとイタリア料理店で夫人の菅伸子と共にテーブルを囲み「日本も脱原発を決めたイタリアと同じく、原発の是非を国民投票でやりなさい」と言われた日以降、脱原発へ踏み込んだのではないかとされている^[111]。

これらの発言(菅語^[110])について、真意が国民に伝わっていないと指摘されている。広報担当の内閣審議官下村健一は「何を言うかではなく何をやるか」が菅の持論であり、国民への説明を求めているがなかなか変わらないと述べている。またポピュリズムとの批判は激しく外れているとし、自身の年金未納問題について役所のミスであると説明したものの失脚に追い込まれた経験が、菅が世論に無頓着である原因であると述べている^[110]。

批判・スキャンダルなど

辛光洙釈放署名問題

菅は社民連所属新人議員時代に、先輩議員にあたる田英夫の求めに応じ、在日韓国人政治犯釈放の要望書に署名したが、この中に北朝鮮による日本人拉致の実行犯である辛光洙を始めとする北朝鮮のスパイ容疑者10名が含まれており、現在に至るまで世論から批判・追及を受ける事となる(辛光洙#在日韓国人政治犯釈放の要望書について参照)。

在日韓国人違法献金問題

外国人からの違法献金問題で前原誠司が外務大臣を辞任した直後の2011年3月11日、資金管理団体が、2006年と2009年に、金融機関の元理事で、現在、横浜市内で不動産業や飲食店などを営む複数の会社で代表取締役を務め、町田市などでパチンコ店を3店舗経営し年商が約50億円にのぼる^{[112][113]}河本善鎬という通名の日本人名を持つ在日韓国人^[114]から計104万円の献金を受け取っていたことが

朝日新聞の取材で発覚した。在日韓国人系金融機関は、旧横浜商銀信用組合（現中央商銀信用組合）。献金を行った元理事は在日韓国人で、外国人からの献金を禁じた政治資金規程法違反にあたる。なお献金を受け取った2006年は民主党代表代行、2009年は政権交代後、副総理兼国家戦略担当大臣だった時期にあたる^[115]。菅本人は献金の受け取りを認めたが、元理事が外国人だということは知らなかったと主張している。また首相続投の意思を示しているが、自民党、公明党、みんなの党からは首相退陣を求める声があがっている^[116]。

同年4月8日、菅の資金管理団体「草志会」はこの男性が韓国籍であると確認した上で、新聞で報じられた3月11日に「落ち着いたら何でもしますから、とにかく逃げて下さい」、3月12日に「過去も現在も未来も会ったことはなかったことにしてほしい」と2度に渡り菅本人が直接在日韓国人男性の携帯に電話連絡をした後^[117]、受け取った献金104万円を在日韓国人男性に3月14日に返却していたことが分かった^[118]。また、神奈川県に住む者が菅に対する告発状を東京地検に提出している^[119]。政治資金規程法第二十二條の五では外国勢力の政治への影響を排除するため「何人も外国人、外国法人から、政治活動に関する寄付を受けてはならない」と規定し、違反すれば3年以下の禁固か50万円以下の罰金となる^[120]。罪が確定すれば、公民権停止の対象ともなる。

日本人拉致事件容疑者親族の政治団体への献金問題

2011年4月に行われた第17回統一地方選挙三鷹市議選に、よど号ハイジャック事件を起こしたよど号グループの元リーダー田宮高麿と、石岡亨・松木薫を欧州から北朝鮮に拉致した結婚目的誘拐容疑で国際手配を受けている森順子容疑者の長男森大志が立候補したが、この森が所属する政治団体「市民の党」（東京、酒井剛代表）から派生した政治団体「政権交代をめざす市民の会」（神奈川、奈良握代表）に菅の資金管理団体「草志会」が2007年に5000万円、2008年に1000万円、2009年に250万円の、計6250万円の政治献金を行っていたことが政治資金収支報告書から明らかになった^{[121][122][123]}。国会中継も行われた2011年7月6日の衆院予算委員会での石原伸晃への答弁において、政治献金をしていたのは「事実」と認め^[124]、7月7日の衆議院予算委員会で、自民党の磯崎陽輔議員への答弁で、6250万円を与える意味は何なのかと問われた際には、「私の判断で寄付をした」「党の活動の連携支援のためだった。政治的にいろいろな意味でプラスになると考えた」と述べたが詳細は明らかにせず、返金要請の可能性については「返金を求めるつもりはない」と明確に否定している^[125]。加えて、政権交代をめざす市民の会に5000万円を提供した2007年、民主党から草志会に計1億2300万円の献金があり民主党が事実上市民の党などを支えていた形だった^{[126][127]}。菅が自社さ党訪朝団の一員として1995年3月に平壤を訪問した際、当時、対日工作を仕切っていた北朝鮮の金容淳党国際部長（朝鮮アジア太平洋平和委員会委員長）から、菅や鳩山由紀夫が贈り物を受け取っている写真も見つかっており^[128]、この件については、自民党も弁護士や会計士、元警察官僚などを中心とする菅首相拉致関係献金疑惑追及プロジェクトチームを立ち上げ調査を始めており^[129]、7月29日には、平沼赳夫が代表を務める超党派の「拉致救出議員連盟」が全会一致で、この献金問題を解明する調査特別委員会を設置することを決め、調査には東祥三拉致担当副大臣や拉致被害者の支援団体も協力すると明言しており^[130]、アメリカ情報機関や公安当局も献金先の団体に関心を寄せている^[131]。

また菅は、1979年から月2〜3回刊行され2002年以降は休刊状態となっており、よど号ハイジャック犯の元リーダー田宮高麿の著書「わが思想の革命」の書評に大きく紙面を割き、「チョソン（北朝鮮）に来てから、これまでの18年間は自己を革命化する日々だった」という田宮が北朝鮮から送ったメッセージを1988年4月に掲載し、酒井代表が主筆を務め市民の党が推す議員の選挙を詳しく報じるなど事実上の機関紙として機能していた「市民の党をつくる新聞」と書かれた新聞「新生」に対し、1983年の衆院選を前に、菅を「市民派の象徴というべき人物」と紹介したインタビューに応じ、軍縮に絡み「レーガン米大統領とアンドロポフソ連書記長をスペースシャトルに乗せて青い地球を見せる」と述べており、1984年1月の紙面には「市民政治の芽を太い幹に」との見出しで「労働運動と市民運動が両輪となるような運動のあり方をぜひ追求したいと思う」といったメッセージを寄せていた^[132]。市民の党の酒井代表は、菅が初当選した選挙を手伝い、民主党議員約100人の選挙応援も行った間柄で^[133]、酒井も「菅とは30年ぐらい前からの付き合い」と述べている^[129]。

この件に関して北朝鮮による拉致被害者家族連絡会のメンバーもコメントしており、有本嘉代子は「日本の政治家がやることとは思えない」「政治家がいかにかげんか身をもって感じている。拉致被害者家族としてだけでなく、一人の日本人として、菅さんに即刻辞めてくださいと言いたい」と述べ、斉藤文代

は「故田宮高磨元リーダーの長男が市議選に出て、落選したことは知っていた。選挙で当選するかどうかは有権者が決めることで私がどうこう言うことではないが、献金が事実なら到底考えられない」と述べ、家族会事務局長の増元照明は「そうした首相の姿勢すべてに対し疑念を持たざるを得ない」「拉致問題解決を目指すとする首相の言葉が本当なのか。きちんと説明してほしい」と述べており^[134]、増元は菅が答弁では謝るつもりはないと述べた2011年7月21日の参院予算委員会で参考人として出席した際、「家族会を14年前に結成し、日本社会の闇、政治の闇に翻弄されながら戦ってきた。やっと金正日総書記に拉致事件を認めさせたが、今回の献金話を聞いて、こんなことがあっていいのかと考えさせられた。横田めぐみさんの母、早紀江さんは『何を信じていいのか分からない。政府を信じていいのか…。吐き気がするほど具合が悪くなった』と語っていた。わたしたちが闘ってきて、ようやく北朝鮮に拉致を認めさせる流れをつくったが、再びわたしたちが闘わなければならない闇が生じているのではないかとの危惧を抱いている」「菅首相は辛元死刑囚の嘆願書への署名について、うかつだったと説明され、われわれ家族会も了承していたが、これで2度目だ。先ほどから分からない、知らなかったなどと答弁されていたが、国民の前で献金の意図を明確にしてほしい」と訴えたが、菅は手元の資料に目を落とし増元の顔をまともに見ようとせず「そういうことがあるなら大変申し訳なく思う」と、あくまで条件付きで陳謝している^{[135][136]}。

この献金問題についてテレビは、関西テレビ放送、2011年7月25日放送のビートたけしのTVタックル、7月31日放送のたかじんのそこまで言って委員会が大々的に取り扱った以外では、7月22日放送ひるおび!の『飛び出す新聞バン!』、7月21日にフジテレビ、7月29日にTBSとテレビ朝日が、わずかに報じたのみで、それ以外ではNHKも含めた在京テレビ局をはじめとした多くのテレビ局は一切報道せず沈黙を貫いており、新聞においても、7月7日と7月21日に時事通信が、7月30日に東京新聞が、7月21日と8月9日に毎日新聞、朝日新聞がわずかに報じたのみで、7月7日からは読売新聞が少しずつ報じるようになってきてはいるものの、夕刊フジを含む産経新聞のみが大々的に連日報道している状態である^[137]。この問題が積極的に報道されない理由については、菅が総理になった後の官邸日記に社会市民連合を一緒に立ち上げた盟友の江田五月と銀座の某バーに行ったことが書かれており、社会市民連合を立ち上げた安東仁兵衛が中心で作っていた極左雑誌『現代の理論』でバーのママは小説、映画評論をやっており、菅は編集の手伝いをしていたことからバーの60代のママと菅直人は友人関係にあるのではないかとしたうえで、バーは田英夫のことをいつも褒め称えていたような左翼思想に共鳴する新聞などの、記者、毎日新聞を含む政治部における役職が高い者などがよく集まっており、そこで合法ということもあり無視しておこうという話になっているのではないかという説や、婦人組織などを牛耳り、菅の選挙活動に力を入れている婦人の菅伸子は安東仁兵衛と面識があり親しい間柄であることから、一役買っている可能性があるのではないかという説もある^[138]。

女性スキャンダル

戸野本優子とのダブル不倫騒動

週刊文春によると1998年11月、全日空ホテル23階にて、キャスターの戸野本優子とともにいるところを週刊誌の記者に撮影された。これに対し菅は男女関係を否定^[139]。その際の「一夜は共にしたが男女関係はない」「(妻から)脇が甘いと言われた」という表現が、世間の流行語となった^[140]。本件については、日本テレビ系の「ザ・ワイド」において、有田芳生が詳細な調査を行い、連日、報道していた^[141]。その後、戸野本が手記を暴露本「瓦解」として出版。2002年5月の週刊新潮によると一連の騒動について、菅は出版社を提訴したが、そのときの顧問弁護士は仙谷由人であった^[142]。

韓国人女性との不倫・隠し子騒動

週刊文春2010/6/24号に「菅直人「オンナ」の噂を追う」として韓国人ホステスとの間に隠し子がいるとの記事が掲載された。情報の真偽の程は不明であるが、韓国人ホステスは実は国家情報院に通じている(スパイの疑いあり)ともされ、自民党は調査に乗り出した、と報道している。同様の報道はシンガポールの「星洲日報」や台湾の新聞ネット版「自由電子報」香港の「shina.com.hk」でもニュースとして報道されている。^{[143][144]}。

その他

- 身長175cm。血液型O^[145]。
- 趣味はスキューバダイビング(但しライセンスは未取得)、囲碁^[146](野党時代、小沢一郎と囲碁で交流を深めた^[147])。
- 新潟県中越地震によって発生した上越新幹線脱線事故については「新幹線を迅速に止めるため、最後尾からパラシュートを出す」とのアイデアを紹介している^[148]。
- 本宮ひろ志が、参議院選挙に全国区から立候補、選挙の様子をリアルタイムで執筆し連載する予定だった漫画『やぶれかぶれ』に秘書らとともに、本宮の指南役として登場している。
- 東京工業大学在学中に麻雀点数計算機を発明。特許を取得し、いくつかの企業に製品化を持ち掛けたが、実用化には至っていない。現在もその試作機が存在し、千葉県いすみ市の麻雀博物館に展示されている^[149]。
- かねてから(首相になる前から)、各地方乃至地区に存する総合型(業種ごとに設立する)の健康保険組合による任意加入に基づく集合団体であり、厚生労働省及び元社会保険庁、地方支分部局並びに現日本年金機構の天下り・渡りの受入れ先・斡旋元でもある、総合健康保険組合協議会のうち、代表格の東京都総合健康保険組合協議会(東総協)の新年賀詞交歓会へ、他の国会議員(当時は深谷隆司)及び関東信越厚生局の統括社会保険管理官とともに来賓として出席し^{[注7][注8]}、東総協が兼務する中小企業福祉研究会(中小)の名誉会員でもあり、中小の懇親会にも出席している。
- 「合法的に特許業務可能な職業経験者たる日本国総理大臣」は菅以外では弁護士経験者の初代日本社会党委員長片山哲と初代自民党総裁鳩山一郎のみ。

縁戚関係

家族・親族

祖父: 菅實(医師、政治家)

祖母: 妙子(岡山^[150]、杉治七郎七女^{[150][151]})

父: 菅寿雄(実業家、技術者)
1891年(明治24年)8月生^[150]~没

母: 純子(広島^[150]、三谷良三長女^[150]、福山高女卒^[150])
1912年(大正元年)12月生^[150]~没

姉
1921年(大正10年)8月生^[150]~

岳母・おば: 姫井千恵子(政治家)

義叔父: 津下健哉(医学者)

妻・従姉: 伸子

1945年(昭和20年)10月生~

長男: 菅源太郎(社会運動家、第一総合研究所研究員)

1972年(昭和47年)10月生~

次男:

系譜

菅家(岡山県岡山市北区建部町、東京都武蔵野市)

- 『週刊新潮』(2010年6月17日号)26頁「菅直人の研究」によれば、

「菅家のある親戚は、“菅家は直人さんのところが本家なのですが、元は豪族だった家柄。江戸時代は庄屋だったそうです。岡山大学の先生たちが、本家にあった古文書を歴史研究のために持って行ったほどの由緒のある家。昔から裕福でしたし、直人さんの祖父は名医で、その弟は弁護士。だから、総理大臣が出て驚きませんでした。それほど、本家の方は皆、優秀でしたから」と述べている。集落には1400年代から続く菅家の古い墓が今も残っている」という。

- 家紋は梅鉢紋である。
- 閣僚資産公開では、妻の伸子と2人で岡山市北区に、甲子園球場の約3・8倍に相当する計約14

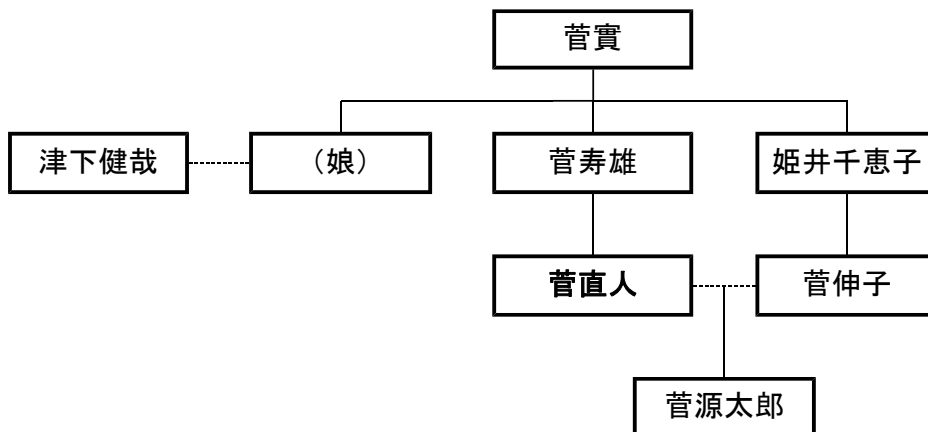
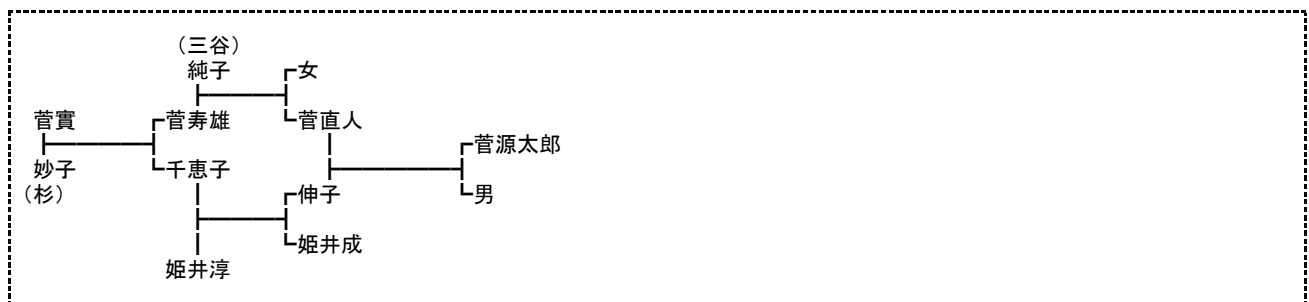
万9千平方メートルの土地を所有していることが分かった^[152]。非課税の保安林など一部は今回、初めて公表した^[152]。

これらの土地について、地元の不動産業者は「取引がほとんどなく、標準的な価格は出せない」と話しており、資産価値は高くないという^[152]。菅首相の事務所によると、土地のほとんどは亡くなった父親から1982年ごろに生前贈与された山林や原野^[152]。菅家は地元では有名な旧家だった^[152]。

資産公開によると、菅首相夫婦は東京都武蔵野市にマンションを共有しているほか、本籍地の岡山市北区に土地がある^[152]。面積は菅首相が約6万8648平方メートル、伸子が約8万654平方メートル^[152]。合併前の旧建部町の町史によると、菅家は代々、庄屋を務めた^[152]。地元に住む一族の男性(菅姓)によると「近所のお年寄りには『家から見える土地はすべて菅家のものだった』と話している」という^[152]。

姫井家(岡山県浅口市金光町)

- 伸子夫人とはいとこ同士^[153]である。『週刊新潮』(2010年6月17日号)136頁に「伸子さんの実家姫井家は江戸時代から代々続く医師の家柄。兄成氏で15代目だそうだ。一方、伸子さんの母親は金光町で町会議長を務めたこともあり、普段から政治談議に花を咲かせる家庭だったという」とある。



主な所属議員連盟

- 日韓議員連盟
- 民主党日韓議員交流委員会(顧問)
- 日朝国交正常化推進議員連盟(顧問)

略歴

- 1946年(昭和21年)10月10日、山口県宇部市で出生(父・寿雄、母・純子)。本籍地は岡山県久米郡福渡町(のち御津郡建部町、現岡山市北区建部町)。
- 1959年3月、宇部市立琴芝小学校卒業。
- 1962年3月、宇部市立神原中学校卒業。
- 1962年4月、山口県立宇部高等学校入学。
- 1963年夏、父親の転勤に伴い、東京都立小山台高等学校に編入。
- 1965年3月、東京都立小山台高等学校卒業
 - 4月1日、父親の母校でもある東京工業大学に入学。
- 1970年3月、東京工業大学理学部応用物理学科を卒業。
- 1971年、弁理士試験に合格。
- 1974年、市川房枝を第10回参議院議員通常選挙に担ぎ、選挙事務長を務め、当選させる。
- 1976年12月5日、第34回衆議院議員総選挙に旧東京7区から無所属で出馬し落選。
- 1977年7月10日、第11回参議院議員通常選挙で社会市民連合から出馬し落選。
- 1978年、社会民主連合副代表に就任。
- 1979年10月7日、第35回衆議院議員総選挙で社会民主連合から出馬し落選。
- 1980年6月22日、第36回衆議院議員総選挙で初当選。
- 1983年12月18日、第37回衆議院議員総選挙で当選(2期目)。
- 1985年、党副書記長兼政策委員長に就任。
- 1986年7月6日、第38回衆議院議員総選挙で当選(3期目)。
- 1990年2月18日、第39回衆議院議員総選挙で当選(4期目)。
- 1993年7月18日、第40回衆議院議員総選挙で当選(5期目)。
- 1994年、社会民主連合の解散に伴い、新党さきがけに入党。後に党政策調査会長に就任。
- 1996年1月11日、第1次橋本内閣で厚生大臣(第74代)として初入閣。
 - 9月28日、鳩山由紀夫と民主党を結成。鳩山と共に共同代表に就任。
 - 10月20日、第41回衆議院議員総選挙に東京18区より立候補し当選(6期目)。
- 1998年4月27日、新民主党の代表に就任。
- 1999年9月、党代表選挙で鳩山由紀夫に敗北。党政策調査会長に就任。
- 2000年、党幹事長に就任。
 - 6月25日、第42回衆議院議員総選挙で当選(7期目)。
- 2002年12月、代表選挙で岡田克也を破り党代表に就任。
- 2003年11月9日、第43回衆議院議員総選挙でともに旧民主党結党時のメンバーだった自民党公認の鳩山邦夫を破って当選(8期目)。鳩山邦夫は比例で復活。
- 2004年5月、年金未納が発覚して代表を辞任。
- 2005年4月、法政大学大学院の客員教授に就任、講義を行う(2005年10月まで)。
- 2005年9月11日、第44回衆議院議員総選挙で地方選挙で長年の宿敵であった土屋正忠前武蔵野市長を小選挙区で破り当選(9期目)。土屋正忠は比例で復活。東京の小選挙区では唯一の当選者となる。
 - 9月17日、衆院選敗北を受けて岡田が党代表を辞任する。党代表選挙に立候補して、前原誠司に敗北。
- 2006年4月7日、堀江メール問題で前原執行部が退陣。党代表選挙に再度立候補して小沢一郎に敗北。党代表代行に就任。
- 2009年5月17日、小沢に替わり党代表となっている鳩山由紀夫により党代表代行に再任。
 - 8月30日、第45回衆議院議員総選挙で当選(10期目)。
 - 9月16日、鳩山由紀夫内閣の副総理兼内閣府特命担当大臣に就任。
- 2010年1月7日、財務大臣に就任。同時に国家戦略担当国務大臣及び科学技術政策担当国務大臣は退任。
 - 3月19日、民主党東京都連会長辞任(後任は、民主党東京都連通常総会開催まで海江田万里衆議院議員が民主党東京都連会長職務代行に就任)。
 - 6月4日、民主党第8代代表に就任。同日、第94代内閣総理大臣に指名。
 - 6月8日、天皇に任命され、内閣総理大臣に就任。菅内閣が発足する。
 - 9月14日、党代表選挙で小沢一郎に勝利。党代表に再任。
 - 9月17日、菅改造内閣発足。
- 2011年1月14日、菅第2次改造内閣が発足。

著書

単著

- 『新・都市土地論』飛鳥新社、1988年12月、ISBN 4870310481
- 『国会論争「土地政策」』新評論、1992年11月、ISBN 4794801599
- 『変革の時代』開発社、1995年6月、ISBN 4759100938
- 『日本大転換 二十一世紀へ希望を手渡すために』光文社、1996年10月、ISBN 4334971261
- 『大臣』(『岩波新書』)、岩波書店、1998年5月、ISBN 4004305586
- 『改革政権準備完了 私に賭けてください』光文社、2002年9月、ISBN 4334973582
- 『総理大臣の器「菅」対「小泉」マニフェスト対決』幻冬舎、2003年10月、ISBN 4344004051
- 『大臣 増補版』(『岩波新書』(新赤版1220))、岩波書店、2009年12月18日、ISBN 4004312205

共編著

- 『民益論 われら官僚主導を排す』(鳩山由紀夫との共著)、PHP研究所、1997年7月、ISBN 4569556426
- 『政権交代のシナリオ「新しい日本」をつくるために』(小沢一郎との共著)、PHP研究所、2003年11月、ISBN 4569631908
- 『菅直人 市民運動から政治闘争へ 90年代の証言』(五百旗頭真・伊藤元重・薬師寺克行編)、朝日新聞出版、2008年6月、ISBN 4022504447
- 『土地問題への提言とQ&A』米沢隆、伊藤茂、坂口カ アイピーシー 1987 ISBN 4871984443

脚注

- ↑ 木下厚著『菅直人総理待望論 菅直人政権で日本はこう変わる』105頁
- ↑ 木下厚著『菅直人総理待望論 菅直人政権で日本はこう変わる』105頁
- ↑ 『週刊新潮』(2010年6月17日号)27頁「菅直人の研究」によれば、東工大の同級生は「大学の自治会に、中核派が入り込んでいたんですが彼は“イデオロギーでは何もかわらない。現実的な対応をしなければ”と、よく中核派に食って掛かっていた。「全学改革推進会議」なるものを立ち上げて、15人くらいを率いて極左系とは違う学生運動を行っていました」と述べている。
- ↑ 週刊新潮 2010年7月8日号(2010/07/01発売)「市民派の仮面をつけた独裁者「菅直人」総理を目指す「小沢一郎」前幹事長以上の強権」によれば、初代内閣安全保障室長の佐々淳行は「菅さんは東工大の学生時代、ノンセクト・ラジカルのグループに所属し、学園紛争を煽っていた。私は当時、警視庁警備課長として機動隊を連れ、3回ほど東工大に行ったので、菅さんを知っていました。彼は我々の間で“4列目の男”と呼ばれていた。アジ演説が巧く、聴衆を集めるが、検挙を覚悟の上でゲバ棒で逆らってくるようなデモ隊の3列目には決して加わらなかった。巧妙なリーダーでしたよ」と述べている。
- ↑ 蔵前ジャーナル 2009年冬号(No.1016)。木下厚著『菅直人総理待望論 菅直人政権で日本はこう変わる』107頁に「先鋭化していく全共闘や、共産党の支配下にある民青にも加わらず、さらに大学寄りの体制側グループでもない第4のグループ「全学改革推進会議」を結成して200人ほどを組織し、そのリーダーとして、独自の行動をとった」とある
- ↑ 本学卒業生が内閣総理大臣に就任
- ↑ 『弁理士への道』より
- ↑ ^{*a*} ^{*b*} 木下厚『菅直人総理待望論 菅直人政権で日本はこう変わる』108頁
- ↑ 社民連十年史 社会市民連合結成前夜
- ↑ 朝日新聞1992年6月13日夕刊 日本経済新聞1992年6月13日夕刊
- ↑ 飯島勲 (2011年6月11日). “「すっから菅総理」のスタンドプレー”. *プレジデント2011/07/04号* 2011年6月20日閲覧。
- ↑ カレル・ヴァン・ウォルフレン『人間を幸福にしない日本というシステム』毎日新聞社、1994年。ISBN 4620310190。
- ↑ 年金政策のパンフレット - 自民党PDFファイル)
- ↑ 「菅直人の今日の一言」2007年6月1日付
- ↑ 厚生労働省報道発表資料【堺市学童集団下痢症の原因究明一概要】[1]
- ↑ 厚生労働省報道発表資料【堺市学童集団下痢症の原因究明一調査結果まとめ】1[2]
- ↑ 厚生労働省報道発表資料【堺市学童集団下痢症の原因究明一調査結果まとめ】2[3]
- ↑ 厚生労働省報道発表資料【堺市学童集団下痢症の原因究明一調査結果まとめ】3[4]
- ↑ 裁判所判例検索システム 該当裁判の判決文[5]

20. ^ 菅直人 (2002年3月15日). “今日の一言”. 2010年9月22日閲覧。
21. ^ 福田長官ら4閣僚が未納 年金保険料、菅民代表も47NEWS 2004年4月28日
22. ^ 社会保険庁が菅代表の国民年金脱退手続の誤りを認める民主党 2004年5月14日
23. ^ 2004年7月17日毎日新聞、岩見隆夫「近聞遠見：菅さんにお詫びします」
24. ^ 但し、四国八十八カ所巡りは、愛媛県松山市の53番目の札所である、圓明寺迄である。
25. ^ 菅直人 (2002年12月22日). “今日の一言”. 2011年7月12日閲覧。
26. ^ *ab* “菅首相の変節「トロイカ」体制ついに破綻”. *産経新聞*. (2010-9-01) 2010-9-19閲覧。
27. ^ 「国家戦略になっていない」鳩山首相が戦略室の“機能不全”認める(産経、09.12.2)
28. ^ “<スコープ>菅氏ようやく主導権 予算編成は出番なく”. *東京新聞*. (2009年12月31日)
29. ^ 第174国会、参議院予算委員会-1号 平成22年01月26日 議事録
30. ^ “舛添氏トップ維持、鳩山首相は5位=2位に菅、渡辺氏並ぶ-次期首相候補”. *時事通信社* (ウォール・ストリート・ジャーナル日本版). (2010年4月17日) 2009年4月17日閲覧。
31. ^ 日本経済新聞(2010年8月27日)
32. ^ “菅首相に「辞めろ」「出直せ」街頭演説で痛烈ヤジ…民主代表選”. *スポーツ報知*. (2010年9月5日) 2010年9月8日閲覧。
33. ^ “首相、小沢氏の論戦の主なポイント”. *時事通信社*. (2010-9-11) 2010-9-19閲覧。
34. ^ 菅首相が小沢氏を破る 産経新聞 2010年9月14日閲覧
35. ^ “【小沢氏出馬】一騎打ちの民主代表選、多数派工作激化 鳩山、羽田両氏が小沢氏支持に”. *産経新聞*. (2010年8月27日) 2010年10月17日閲覧。
36. ^ “【小沢氏出馬】一騎打ちの民主代表選、多数派工作激化 鳩山、羽田両氏が小沢氏支持に”. *朝日新聞*. (2010年9月16日) 2010年10月17日閲覧。
37. ^ “菅首相：外相には前原氏起用 党人事は「脱小沢」を強化”. *毎日新聞*. (2010年9月17日) 2010年10月17日閲覧。
38. ^ “【副大臣・政務官人事】閣議決定 小沢系からも登用 党内融和に配慮”. (2010年9月21日) 2010年10月17日閲覧。
39. ^ “浜岡原発：全面停止へ 東海地震備え、安全対策完成まで”. *毎日新聞*. (2011年5月6日) 2011年5月8日閲覧。
40. ^ “菅首相：自民党に大連立打診、東日本大震災対策で―谷垣氏は拒否(1)”. *ブルームバーグジャパン*. (2011年3月19日) 2011年6月20日閲覧。
41. ^ “自民党・谷垣総裁 大連立をあらためて否定”. *日本テレビ*. (2011年4月7日) 2011年6月20日閲覧。
42. ^ “小沢氏「菅降ろし」でゴーサインか 小沢派決起へ”. *産経新聞*. (2011年4月11日) 2011年6月20日閲覧。
43. ^ 菅首相：「震災に一定のめど」後の退陣表明―内閣不信任案は否決 *ブルームバーグジャパン* 2011年6月2日閲覧
44. ^ 仙谷氏「身を投げ出してもらおう」早期退陣要求 2011年6月11日14時32分 読売新聞
45. ^ “退陣後の大連立へ「最低1年は必要」仙谷氏”. *読売新聞*. (2011年6月12日) 2011年6月20日閲覧。
46. ^ 菅首相、「自然エネルギー庁」構想を披露2011/6/13 12:52 J-CASTニュース
47. ^ 孫さんのエールに菅さん「辞めない」サイン2011年6月16日8時33分 nikkansports
48. ^ 毎日JP2011年7月4日
49. ^ 菅直人 (2000年12月9日). “今日の一言”. 2010年6月21日閲覧。
50. ^ 石井純 (2010年6月4日). “債券投資デイリー”. 2010年6月21日閲覧。
51. ^ 斎藤貴男『消費税のカラクリ』講談社現代新書
52. ^ “消費税とTPP「6月めどに方向性」菅首相、年頭会見で表明”. *産経新聞*. (2011年1月5日) 2011年6月20日閲覧。
53. ^ “【東日本大震災】TPP参加判断先送り 政府が閣議決定”. *産経新聞*. (2011年5月17日) 2011年6月20日閲覧。
54. ^ 菅氏「鳩山首相は4年続けるべき」MSN産経ニュース 2010年4月12日
55. ^ 赤城農水相辞任「遅きに失した」。改めて政治資金規正法改正目指す 菅代行 民主党ニュース 2007年8月1日
56. ^ “首相「国旗大好き。国歌も嫌いではない」?”. *産経新聞*. (2010年6月14日) 2010年6月26日閲覧。
57. ^ 菅直人 (2011年6月6日). “KAN-FULL BLOG『《次の時代》(1):私と風力発電』”. 2011年6月6日閲覧。
58. ^ [1月7日17時18分配信 時事通信]
59. ^ “為替に急激な変化あれば介入せざるを得ない―菅首相＝FT紙”. *ロイター*. (2010年9月21日) 2010年10月17日閲覧。
60. ^ *ab* 民主党2004年度定期大会 菅直人代表挨拶
61. ^ 菅首相、「安全保障上の問題ふくめ意見ある」 外国人参政権は慎重に議論を 産経新聞[6]
62. ^ 『救国的自立外交私案』-タブーなき外交論
63. ^ 菅副総理「日米関係が最重要」MSN産経ニュース 2009年12月28日
64. ^ “新首相は苦勞人、久々の「非お坊ちゃま型」”. *読売新聞*. (2010-6-5) 2010-6-15閲覧。
65. ^ “菅直人氏のイメージの原点をたどると…”. *西日本新聞*. (2010-6-05) 2010-6-21閲覧。
66. ^ 「イラ菅」早くも炸裂 我慢の糸切れる - 産経新聞、2010-06-11.
67. ^ “新首相は苦勞人、久々の「非お坊ちゃま型」”. *読売新聞*. (2010-6-5) 2010-6-15閲覧。
68. ^ 週刊ポスト1998年12月4日号

69. ^ "菅「仲子依存症」夜の会合同席率70%" タ刊フジ 2011.02.26 [7]
70. ^ [8]「彼は言葉で地位を築いてきた」仙谷氏、率直に首相評 (2010年6月9日)
71. ^ 岩見隆夫 (2011年4月23日). “近聞遠見:「心がない」と責められて”. *毎日新聞* 2011年6月20日閲覧。
72. ^ 阿比留瑠比 (2011年4月23日). “「東日本つぶれる」「20年住めない」…首相は「歩く風評被害」”. *産経新聞* 2011年5月3日閲覧。
73. ^ “鳩山氏「約束守れなかったらペテン師」菅首相を批判”. *朝日新聞*. (2011年6月3日) 2011年6月11日閲覧。
74. ^ “Japan Producer インタビューvol.12 菅直人 衆議院議員”. NPO法人ドットジェイピー. 2010-1-7閲覧。
75. ^ “【菅首相会見速報】「最小不幸の社会」づくりを目指す”. *産経新聞*. (2010年6月8日) 2010年7月22日閲覧。
76. ^ 早野透『政治家の本棚』朝日新聞社、2002年。ISBN 4022577460。
77. ^ 東京地方裁判所、平成8年(ワ)第23677号
78. ^ 菅直人幹事長、南京大虐殺記念館を訪問(人民日報)
79. ^ テレビ朝日、朝まで生テレビ内での発言 - YouTube
80. ^ 時事ドットコム 2008年12月14日「YKKK」政界再編の軸？＝山崎、加藤、菅、亀井氏がテレビ出演
81. ^ 菅直人 (2004年10月23日). “天災”. 菅直人公式サイト. 2011年3月12日閲覧。
82. ^ 菅直人 (2004年10月24日). “余震”. 菅直人公式サイト. 2011年3月12日閲覧。
83. ^ 民主党:国民の手に予算を取り戻そう 菅代表代行が東京都亀有駅前で [9]
84. ^ 『朝日新聞』2008年12月24日
85. ^ 民主党は「罵詈雑言」戦術？ 衆院予算委 産経ニュース 2009.2.4
86. ^ nikkansports2008年10月23日
87. ^ 中国新聞 (2010/12/30) 『首相の会食、身内ばかり「情報不足」に拍車』 [10]
88. ^ 首相夕食『身内』と息抜き 1位は補佐官、次いで夫人(東京新聞 2010年12月8日 朝刊)
89. ^ 読売新聞 2010年12月8日10時02分『情報過疎の一因？首相、面会・会食は側近ばかり』 [11]
90. ^ asahi.com2011年3月4日
91. ^ 26日発売 WiLL必見
92. ^ 民主党都連、マニフェスト批判の都議に離党勧告 MSN産経ニュース 2009年10月28日
93. ^ **【土屋たかゆき】民主党離党勧告に物申す！** [桜H21/11/17]. 日本文化チャンネル桜. (2009年11月17日) 2010年3月2日閲覧。
94. ^ 今日の”つつちー” 土屋敬之ホームページ 2009年11月5日(木) No.456
95. ^ [12] J-CASTニュース 2010/6/21 17:20
96. ^ [13] ニコニコ動画-菅代表(総理)街頭演説 埼玉・大宮(2010年6月19日)
97. ^ [14] 池田信夫blog-ゴーン社長は「首切り上手」か(2010年06月21日 20:40)
98. ^ 菅直人『大臣 増補版』p.75(2009年、岩波書店)
99. ^ 谷垣氏が代表質問、菅首相を追及「副総理でだんまり」asahi.com(朝日新聞社)2010年6月14日。2010年6月25日閲覧
100. ^ 「基地問題どうにもならぬ」首相、昨年もらす (日本経済新聞)
101. ^ <http://sankei.jp.msn.com/politics/policy/100615/plc1006152358024-n1.htm>
102. ^ 菅首相知らなかった？「大臣は自衛官じゃないんですよ」(朝日新聞)
103. ^ 『朝日新聞』2011年3月18日
104. ^ <http://www.tokyo-np.co.jp/article/column/editorial/CK2011043002000068.html>
105. ^ <http://mainichi.jp/select/seiji/news/20110502ddm002040096000c.html>
106. ^ <http://mainichi.jp/select/seiji/news/20110502k0000e010062000c.html>
107. ^ 日テレNEWS242011年6月2日
108. ^ ロイター2011年7月6日
109. ^ 日テレNEWS242011年7月13日
110. ^ *abc* 日本経済新聞 2011年7月21日夕刊
111. ^ 首相「脱原発」にイタリア人の影 ちらつく極左テロ組織 産経新聞、2011年7月31日。
112. ^ 首相も外国人から104万円 進退問題に発展も 産経新聞、2011年3月11日。
113. ^ 献金男性のパチンコ店経営会社にマスコミ殺到も反応なし 産経新聞、2011年3月11日。
114. ^ エヴァンゲリオンの渚カヲルも言っている モーニングスター、2011年7月19日。
115. ^ 菅首相に違法献金の疑い 在日韓国人から 首相側未回答 朝日新聞、2011年3月11日。
116. ^ 外国人献金、野党から首相の退陣求める声相次ぐ 読売新聞、2011年3月11日。
117. ^ 週刊文春 4月14日号
118. ^ 首相が在日韓国人の献金を返還 104万円 47NEWS、2011年4月8日。
119. ^ 神奈川県住民ら告発状提出 産経新聞、2011年5月3日。
120. ^ 政治資金規正法 総務省。
121. ^ 拉致容疑者親族の周辺団体に献金＝首相認める、6250万円 時事通信、2011年7月7日。
122. ^ 拉致容疑者の親族周辺団体、民主3議員側に1690万円献金 密接ぶり浮き彫りに 産経新聞、2011年7月13日。
123. ^ 総務省 草志会収支報告書総務省 草志会収支報告書総務省 草志会収支報告書
124. ^ 首相「献金は事実」拉致容疑者の親族周辺団体 産経新聞、2011年7月7日。

125. ^ 菅首相「私の判断」と認める 拉致容疑者親族周辺団体への献金「党活動の連携支援」 産経新聞、2011年7月7日。
126. ^ "脱原発しがみつキ"菅の緊急ペテン会見に騙されるな! 産経新聞、2011年7月13日。
127. ^ 献金問題の深い闇 産経新聞、2011年7月14日。
128. ^ スクーブ! "売国菅" 国辱の「訪朝写真」頭下げプレゼントを… zakzak、夕刊フジ、2011年7月20日。
129. ^ *ab* 菅首相側、北の拉致容疑者親族の周辺団体に6250万円献金 産経新聞、2011年7月2日。
130. ^ モ〜崩壊寸前! 政権メンバーも“売国菅”徹底追及 zakzak、2011年7月29日。
131. ^ 売国菅の"北献金"深まる闇…公安、米情報機関も関心 zakzak、産経新聞、2011年7月7日。
132. ^ 市民の党“機関紙”菅首相、30年前から寄稿 よど号犯やポル・ポト派幹部も 産経新聞、2011年7月17日。
133. ^ 【民主と北朝鮮】菅「献金先」と総連関連ビルの“怪しい関係” zakzak 産経新聞、2011年8月5日。
134. ^ 菅首相側献金 「信じられない」「姿勢に疑念」 拉致被害者家族が怒り 産経新聞、2011年7月2日。
135. ^ 拉致被害者家族も吐き気! 菅と北のあまりにも深い闇 zakzak、産経新聞、2011年7月22日。
136. ^ 拉致容疑者関連団体献金問題 野党側、参院予算委で菅首相の責任を厳しく追及 フジテレビジョン、2011年7月21日。
137. ^ 産経だけが騒ぐ菅直人首相の献金問題「民主党の北献金に沈黙するテレビ新聞」とする画像がネット拡散! - ネットのニュースランキングでも出てこない ベスト&ワースト、2011年7月13日。
138. ^ たかじんのそこまで言って委員会、2011年7月31日。
139. ^ 戸野本優子著「瓦解」本文
140. ^ 週刊ポスト1998年12月4日号
141. ^ 戸野本優子著「瓦解」本文より
142. ^ 週刊新潮2002年5月
143. ^ “日本・菅直人被爆有私生子・自民黨派人赴韓挖料” (中国語). *星洲日報*. (2010年6月19日)
144. ^ “日新首相染醜聞 被爆與酒店小姐有私生子” (中国語). *自由電子報*. (2010年6月18日)
145. ^ 新首相・菅直人という男はどんな人? SANSPO.COM
146. ^ “舌鋒鋭さ持ち味—菅氏 剛腕で舞台回し—小沢氏”. *中国新聞*. (2010年9月1日) 2010年9月20日閲覧。
147. ^ 小沢さんで注目! 権力者は「囲碁」で人脈をつくる?
148. ^ 菅直人 (2004年10月29日). “脱線事故”. 菅直人公式サイト. 2010年3月2日閲覧。
149. ^ 麻雀博物館 宝物閲覧
150. ^ *abcdefgh* 『第十六版人事興信録(上)』1951年 す之部 す七頁より
151. ^ 『第廿一版人事興信録(上)、1961年』には「杉七郎七女」とある
152. ^ *abcdefghi* サラリーマン家庭出の菅首相…甲子園の3・8倍の土地持ち(社会) — スポニチ Sponichi Annex ニュース
153. ^ 菅伸子夫人、演説デビュー (MSN産経ニュース)

注釈

1. ^ 菅直人の「直」の字は本当は2画目がやや斜めなのが正しい。
2. ^ 菅直人の政敵で、住まいがある武蔵野市の市長を6期務めた土屋正忠は菅直人青年が市民運動の現場にいたことを見たことがないと証言している[15]。
3. ^ 作家の有吉佐和子は1974年の参院選の際に市川を応援するために選挙事務所に入って小説『複合汚染』にその模様を記し、菅も実名で登場している。有吉は菅が自分を市川の代わりとして勝手に候補者にかつぎあげようとも考えていたと聞いてゾツとし、「ハンサムだけど嫌われなければならない」と思いつめてことさらにガミガミ怒鳴りつけたと記している。
4. ^ この選挙に出馬した際、市川から「自力で闘いなさい」と言われていた。しかし選挙では市川の名前をいたる所で使い、市川の選挙名簿を利用し、カンパや選挙運動への協力を要請強要したとされる。市川は「私が主張し、実践してきた理想選挙と大分異なっていた」と評している。(「私の国会報告」市川房江著、市川房枝記念会出版部)
5. ^ この件に関し、市川房枝から反対され、「参加民主主義をめざす市民の会」からも退会している。
6. ^ 堺市のO157感染とカイワレとの因果関係が争われた裁判における、大阪地方裁判所と大阪高等裁判所による判決の要旨は以下の通り。
 - 2002年3月15日 大阪地方裁判所 平成9年(ワ)第2222号 損害賠償請求事件

カイワレが原因とする厚生省(当時)の判断は問題があり、厚生労働省に対してカイワレの生産業者に対して損害賠償を命じた。

判決文では、厚生省の発表について「当時のO-157感染症の発生状況に照らし、これから更なる調査を重ねなければならない状況下において、かかる過渡的な情報で、かつ、それが公表されることによって対象者の利益を著しく害するおそれのある情報を、それによって被害を受けるおそれのある者に対する十分な手続的保障もないまま、厚生大臣が記者会見まで行って積極的に公表する緊急性、必要性は全く認

められなかったといわざるを得ない」として、「中間報告の公表は、相当性を欠くものと認定せざるを得ない」と公表方法の過失を認定した。

- 2004年2月19日 大阪高等裁判所 平成14年(ネ)第1531号 損害賠償請求控訴事件
 - 一審の判決を支持し、カイワレが原因とする厚生省(当時)の判断は問題があり、厚生労働省に対してカイワレの生産業者に対して損害賠償を命じた。
 - 判決文では、厚生省の発表について「公表することによって被控訴人が被る打撃や不利益に思いを至せば、その時点では、公表すべき緊急性、必要性があったものということとはできない」として、「公表方法の選択が政策的判断であるという見地に立つとしても、その判断には逸脱があり違法である」と公表方法の過失を認定した。
- 7. ^ 写真中央、右側に立つ菅直人氏及び左側に立つ深谷隆司氏。東京都総合健康保険組合協議会(東総協)の新年賀詞交歓会、明治記念館2階「富士の間」にて。
- 8. ^ 東京都総合健康保険組合協議会(東総協)の新年賀詞交歓会において、明治記念館2階「富士の間」の演壇に立ち新年の抱負を述べる厚生労働省保険局の地方支分部局である関東信越厚生局の統括社会保険管理官。

関連項目


- 美作菅氏
- 国のかたち研究会
- 自社さ連立政権
- 非自民・非共産連立政権
- 第1次橋本内閣
- 薬害エイズ事件
- 消えた年金問題
- 市川房枝
- 江田三郎
- 江田五月
- 松下圭一
- 永井陽之助
- 鳩山由紀夫
- 小沢一郎
- 本多平直
- 笹木竜三
- 辛光洙
- 菅伸子
- 菅源太郎
- 樽井良和
- 中谷一馬

外部リンク

- 公式サイト
- 菅直人氏動画メッセージ「団塊世代の第2ステージ」(超人大陸)
- 民主党 web-site
- 国会議員情報 菅直人 - 時事ドットコム

官職		
先代: 鳩山由紀夫	● 内閣総理大臣 第94代:2010年 -	次代: 現職
先代: 久保亘	● 国務大臣(副総理) 2009年 - 2010年	次代: —
先代: 藤井裕久	● 財務大臣 第13代:2010年	次代: 野田佳彦
先代: 林芳正	● 特命担当大臣(経済財政政策) 第13代:2009年 - 2010年	次代: 荒井聰
先代: 野田聖子	● 特命担当大臣(科学技術政策) 第14代:2009年 - 2010年	次代: 川端達夫
先代: 森井忠良	● 厚生大臣 第80代:1996年	次代: 小泉純一郎
議会		
先代:		次代:

伊藤公介	● 衆議院外務委員長 1993年 - 1995年	三原朝彦
党職		
先代: 結成 鳩山由紀夫 鳩山由紀夫	民主党代表 初代:1998年 - 1999年 第3代:2002年 - 2004年 第8代:2010年 -	次代: 鳩山由紀夫 岡田克也 現職
先代: 藤井裕久	民主党代表代行 2006年 - 2009年	次代: 仙谷由人
先代: 羽田孜	民主党幹事長 第2代:2000年 - 2002年	次代: 中野寛成
先代: 中野寛成	民主党政務調査会長 第3代:1999年 - 2000年	次代: 岡田克也
先代: 結成	(旧)民主党代表 初・第2代:1996年 - 1998年 初代時は鳩山由紀夫との共同代表制	次代: 民主党へ
その他の役職		
先代: 藤井裕久	政府税制調査会会長 第9代:2010年	次代: 野田佳彦

歴代内閣総理大臣								
第93代 鳩山由紀夫			第94代 2010年 -			-		
伊藤博文	寺内正毅	濱口雄幸	阿部信行	片山哲	三木武夫	宮澤喜一	安倍晋三	
黒田清隆	原敬	犬養毅	米内光政	芦田均	福田赳夫	細川護熙	福田康夫	
山縣有朋	高橋是清	齋藤實	東條英機	鳩山一郎	大平正芳	羽田孜	麻生太郎	
松方正義	加藤友三郎	岡田啓介	小磯國昭	石橋湛山	鈴木善幸	村山富市	鳩山由紀夫	
大隈重信	清浦奎吾	廣田弘毅	鈴木貫太郎	岸信介	中曽根康弘	橋本龍太郎	菅直人	
桂太郎	加藤高明	林銑十郎	東久邇宮稔彦	池田勇人	竹下登	小淵恵三		
西園寺公望	若槻禮次郎	近衛文麿	王	佐藤榮作	宇野宗佑	森喜朗		
山本權兵衛	田中義一	平沼騏一郎	幣原喜重郎	田中角榮	海部俊樹	小泉純一郎		
			吉田茂					

「<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%8F%85%E7%9B%B4%E4%BA%BA>」より作成

カテゴリ: 出典を必要とする存命人物記事/2010年 | 独自研究の除去が必要な記事/2010年8月 | 捜査・裁判中の刑事事件 | 出典を必要とする記事/2010年7月 | 出典を必要とする記事/2010年8月 | 節現在進行 | 日本の内閣総理大臣 | 日本の閣僚経験者 | 衆議院議員 | 民主党の国会議員 | 社会民主連合の国会議員 | 東京都選出の国会議員 | 新左翼活動家 | 日本の弁理士 | 法政大学の教員 | 山口県出身の人物 | 1946年生 | 存命人物 | 菅氏

- 最終更新 2011年8月11日 (木) 03:07 (日時は個人設定で未設定ならばUTC)。
- テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。